

特養 10月活動報告



誤嚥性肺炎ゼロへの取り組み



肺炎は高齢者の飲食物や唾液などが誤って気管に入ってしまうことを「誤嚥」といいます。このとき、唾液や胃液と一緒に細菌が肺に入り込んでしまい引き起こされるのが「誤嚥性肺炎」です。2016年の統計によると、肺炎による死亡者は、日本人の死因のうち、がん、心臓病に次いで3番目に多く、そのうち97%は65歳以上で、とくに高齢者では誤嚥性肺炎が多いと考えられています。

近年誤嚥性肺炎と口腔ケアの関係が深いことが分かってきましたが、多くの介護施設では、介護職員は日々介護業務に追われる中で口腔ケアの大切は理解していても口腔ケアに十分な時間を要する事が難しい現状にあります。また、口腔ケアの技術は職員によってバラバラで、自己流になりやすいケアの一つでもあります。

そこで、社会福祉法人桜花会では協力歯科医院の歯科衛生士が実際に施設に訪問（毎週）し、現場の介護職員に口腔ケアの指導を行いながら口腔ケアの技術、知識の向上に努めています。

口腔ケアの力で入居者様が健康で笑顔いっぱいにご過ごして頂けるよう、今後も口腔ケアの取り組みを継続していきます。



ハロウィン & お菓子作り



※職員は写真撮影時のみマスクを外しています。

3階 レクリエーション大会

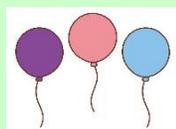
例年であればバスハイクにご案内する時期ですが、今年は館内で楽しんでいただける催しものに変更させて頂きました。

実施した競技は「カルタとり」「魚釣り」そして「ポーリング」です。頭脳を使ったり、手先を使ったり、体全身を使った遊びを行いました。皆様、始まる前は消極的な発言が多いのですが、いざ始まると「負けん気」や「やる気」がみなぎってくるので不思議です。

カルタとり



魚釣り



風船バレー



4階 レクリエーション大会

例年であれば4階もバスハイクにご案内する時期ですが、今年は館内で楽しんでいただける催しものに変更させて頂きました。

実施した競技は「輪投げ」と「ボーリング」。職員参加型で、職員はわざと遠い所から輪っかやボールを投げ、入居者様にも笑って頂けるよう工夫しながら取り組みました。

頑張った景品にはお菓子を準備し、手渡すと皆様大変喜ばれていました。

輪投げ



狙いを定めて
エイっ!!、、、



見事に入りました!!



ボーリング



職員はこんな遠いところからでも、、、

頑張って投げています!!

